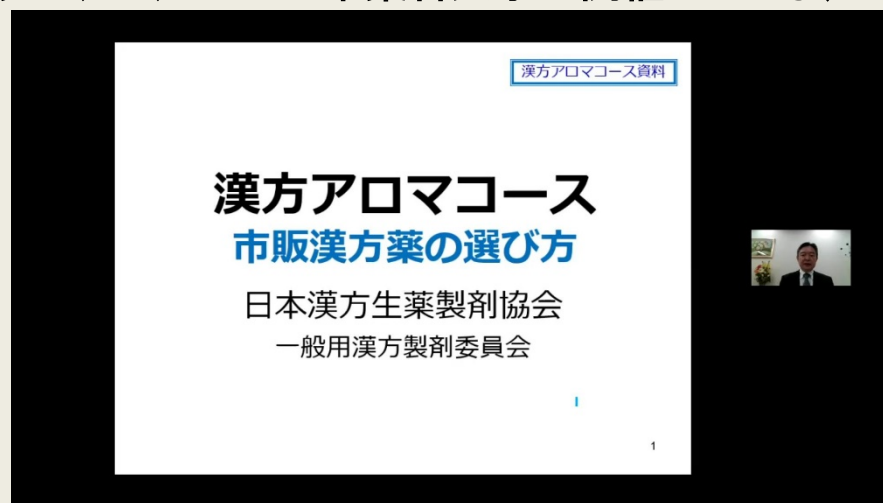


日本薬科大学「漢方アロマコース」講義収録

2021年6月6日(日)、日本薬科大学お茶の水キャンパスにて、2021年度日本薬科大学漢方アロマコースの収録が行われた。

同コースは、文部科学大臣認定の職業実践力プログラム(BP)として日本薬科大学が開催している、薬剤師、登録販売者、看護師等の医療関係者を対象とした統合医療の教育プログラムである。コロナ禍ということもあり、昨年度に引き続いてeラーニング形式での実施となっており、当協会一般用漢方製剤委員会の前委員長・長島義昌氏が「市販漢方薬の選び方」の演題で行った講義の収録が行われた。

長島氏は虚実・寒熱・気血水などの漢方医学的診断方法を紹介した後に、代表的な漢方処方



約90分にわたって解説した。未病の概念にも触れながら、「自分の身体の声に耳を傾けること」の大切さを説き、自分自身で一般用漢方製剤・生薬製剤を選ぶ時でも、薬剤師や登録販売者に相談するときでもそれが重要なポイントになるとのメッセージで講義を締めくくった。長島氏の講義は同コースの受講を申し込んでいる約50名の受講者に向け、6月下旬ころから配信が開始される予定である。